

# 第1回 茨木市総合交通戦略策定協議会 会議録

## 1 日 時

平成24年5月30日（水）午前10時～12時

## 2 場 所

茨木市福祉文化会館 3階303号室

## 3 出席者

別紙出席者名簿のとおり

## 4 欠席者

なし

## 5 開催形態

公開（傍聴者1名）

## 6 次第及び議事の内容（概要）

### （1）開会（大塚都市整備部長挨拶）

- ・交通は人や物の動きを支え、都市機能にとって不可欠なものであり、一方では社会においては少子高齢化が進展し、交通を取り巻く環境が変化している状況である。また、本市ではJR（仮称）総持寺駅の建設計画が動き出し、新しい大学も進出するなど、まちづくりと交通を一体的に考える必要が出てきている。
- ・そういった中で、これからの本市の交通のあり方を総合的に考えるため、総合交通戦略策定協議会を設立したところであり、委員の皆様にはそれぞれの立場で議論や提案をお願いしたい。また、市だけでなく公共交通事業者、警察、利用者の考え方を総合的に捉え直して、これからの本市の交通について考えていきたい。

### （2）委員紹介

〔事務局（市）より出席者を紹介〕

### （3）会長及び副会長の選出について

〔委員の互選により、塚口委員が会長に、猪井委員が副会長に決定〕

#### (4) 会議の公開及び会議録の公開について

##### (事務局)

- ・会議は原則、公開とする。ただし、非公開とすべき案件が発生したときは、会議の非公開を決定することとする。会議資料については傍聴者へ閲覧、配布する。
- ・会議録については要約したものを各委員が確認した後に公開する。会議録中の発言者の表示は「委員」「事務局」等として公表する。また、会議資料についても公開する。

[会議の公開及び会議録の公開について異議はなく、事務局説明のとおり決定]

#### (5) 議事：茨木市総合戦略策定の経緯及び目的について

[事務局より茨木市総合交通戦略策定の経緯及び目的について説明]

##### (委員)

- ・日ごろ感じている問題点について、3つ挙げたい。1点目はバスの運賃が高いという点で、他都市に比べて近畿圏、茨木市の初乗り運賃が高く、乗り継ぎのたびに初乗り運賃がかかることがバスの利用者を下げているのではないか。
- ・2点目はバスと公共施設との連携で、公共施設の催し時間をバスの到着時間に合わせるなど、公共交通を利用しやすくする工夫が必要ではないか。
- ・3点目としては、自転車は本来車道を通行しなければならないのに、停車車両を避けるために歩道を通行しているので、一時停車をもっと厳しく取り締まってほしい。

##### (会長)

- ・この指摘については、「バス料金について」、「バスと公共施設の連絡・連携」、「自転車の通行空間」という点で、今後の検討に加えてほしい。

##### (委員)

- ・自転車を利用しているが茨木市には自転車道が全くなく、走行していて危険に感じている。JR茨木駅から市役所までの間一方通行にして自転車道を整備するといった対策もあるのではないか。
- ・また、過去に一方通行の社会実験を行い、中心部の通過交通を緩和させようとしていたと思うが、その後はどうなったのかお聞きしたい。

##### (事務局)

- ・JR茨木駅の西口に交通が集中し、交通渋滞が発生するなかで、交通の流れを良

くするための取り組みの一環として、JR茨木駅西口駅前広場で平成16年に一方通行化の社会実験を一週間行った。社会実験中は徐々に交通の流れが良くなってきたが、警察や大阪府、市の職員などが現場にて、違法駐車や送迎バスを一掃した状態での実験であり、現実には違法駐車で1車線塞がれる状態で一方通行化をしても、交通渋滞が起こるのではないかという懸念があった。

- ・渋滞発生の根本は、一般車や送迎バスが特に朝夕に路上駐車していることであり、まず、送迎バスを駅前から排除するために上穂東町とマイカル（現在のイオン）の前に送迎用のバスターミナルを設置した。また、一般車両対策としては大阪府により春日丘高校の地下に駐車場を設置してもらい、警察にも交通の流れが良くなる信号現示にもらった。
- ・それでもJRを超える場所が現在のガードの1箇所しかないことから、そこに交通が集中しており、通過交通の排除という基本的な考え方のもとで、都市計画道路である茨木松ヶ本線の整備により交通の分散化を図ろうとしており、現状においては渋滞緩和のために、一方通行化に変わる施策を積み上げているところである。

#### （委員）

- ・歩道橋は、足の不自由な人の立場からは、無用の長物であるということ認識してほしい。JR茨木駅の西口広場では、バス乗場へ階段ではなく地上から行けるように要望を出しているが、今のところ対応はされていない。
- ・中心地で料金の安い、使いやすいバスが導入されればと思う。

#### （委員）

- ・自転車の「走行空間の整備」、「自転車道の整備」、「自転車通行環境の整備」と似たような言葉が使われている。国土交通省のガイドラインでは「自転車通行空間」としており、同じ意味で用いているのであれば、統一した方がよい。
- ・自転車に関連する事故歩行者の安全性という視点も必要であり、自転車対歩行者の事故がどう推移しているのか、データがあれば整理してほしい。

#### （委員）

- ・個別の危険箇所などについては、市内交通事業者で設置する協議会において、対策を議論し、問題解決を進めている。本協議会でも、そのような個々の細かい箇所の対策を議論するのか。
- ・自転車の安全利用について、歩行者が安心して歩けるような施策も必要と考えている。

#### （事務局）

- ・市の将来像という大きな計画から進めていければと思っている。細かい問題点に

については集約したうえで、方針を定めるというイメージを持っている。

(会長)

- ・総合交通戦略であるため、将来像の実現に向けて、どのような対策が必要かというコアな部分を考えていきたい。

(委員)

- ・総合交通戦略で最も大事なことは、まちづくりをどう考えていくかであると思っている。まちづくりのパーツの一つが交通であるということを念頭に、今後の検討を進めてほしい。

(会長)

- ・交通とは非常に重要であるが派生行為である。私たちの生活での本質的な目的は交通とは別のものである。それを支える重要なものが交通で、なくてはならないものであるが、交通が本質的な目的にはならないということを再度意識していきたい。

(委員)

- ・課題には現状のものと、将来的なものがある。また、その対策も短・中・長期のものが考えられるため、時間軸による整理が必要と思う。このような視点も持って、個々のプロジェクトの他への影響も踏まえて議論してほしい。

(委員)

- ・まちづくりや都市計画に関する委員会にも参加していたが、いつも最終的には「交通」には焦点があたりず、ぼやけてしまっている。今回の取り組みには期待しており、まちづくりを踏まえた上で、「交通」を軸に考えていきたいと思う。

(会長)

- ・近年、「交通まちづくり」という概念が生まれており、交通計画の検討に当たっては、常にまちづくりを念頭に進めていくということが、オーソライズされてきている。今回の交通戦略策定にあたっては、必要な考え方である。

(委員)

- ・協議会の進め方について、利用者と交通事業者との対立の構図で議論が進められることもあるが、そういった関係ではなく、茨木市の将来の交通をより良いものにしていくという同じ方向を向いて、知恵を出し合っていくものにしたい。
- ・交通安全の確保は、交通事業者だけで実施できるものではなく、地域や警察と連携した取り組みが重要である。

(会長)

- ・ 2つ目の議題もあるので、最後に全体を通してご意見をいただくということで、次の議題に進めていきたい。

(6) 議事：策定スケジュールについて

[事務局より茨木市総合交通戦略の策定スケジュールについて説明]

(委員)

- ・ 大切なことは、まちづくりと交通事業の連携であり、将来どのようなまちをつかっていくのかというイメージが重要である。将来の茨木市がどうなっているかを分析した上で、将来像を整理していく必要がある。

(事務局)

- ・ 交通戦略策定にあたっては、まちの将来像を描きながら、そのために交通をどうしていくかを考えたいと思っている。

(会長)

- ・ 交通戦略では交通が軸になると思うが、明確な将来の都市像がないと交通を考えることはできない。交通まちづくりの概念のように、まちをこうしたい、暮らしをよくしたいということを常に念頭に入れて検討を進める必要がある。

(委員)

- ・ タクシーについては、資料で全く触れられていないが、どう考えているのか。

(事務局)

- ・ タクシーは公共交通の一つとして重要であり、この協議会でも議論していきたいと考えている。

(委員)

- ・ 妊婦や子供連れ、障害者などの交通弱者が安心して歩けるまちというのが重要と思う。
- ・ コミュニティバスについて、採算が取れず廃止を考えているケースもあるため、こういった状況を見据えて考える必要があると思う。

(会長)

- ・ コミュニティバスは、民間業者が維持できないところを行政が補助等を出して運

営しているもので、基本的には採算に合わないものが多いが、このような収支だけでは成立しないバスについても検討していきたいと思う。

## **(7) 議事：その他**

### **(委員)**

- ・今回は、交通とまちづくりの関係を再認識できる場となったと思う。交通戦略では将来の目標と都市像、アウトカム指標が必要である。
- ・将来都市像を明確にし、アウトカム指標を定め、その指標達成のために、この施策を行うという手順が必要であり、それができれば実効性のある計画になると思う。

### **(会長)**

- ・今回の協議会では、アウトカム指標を適切に定めたいと考えている。
- ・なお先のことはあるが、本協議会は策定後には解散になると思うが、進捗管理する組織を維持することが望ましいと思っている。
- ・次回に向けて、本日の議論をよく踏まえて検討を進めてほしい。

## **(8) 次回の開催日程**

### **(事務局)**

- ・9月に開催を予定（具体の開催日時は別途調整のうえ決定する。）

第1回 茨木市総合交通戦略策定協議会 出席者名簿

(敬称略)

【委員】

- 塚口 博司 (立命館大学理工学部都市システム工学科 教授) : 会長  
猪井 博登 (大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻 助教) : 副会長  
林 高 (市民)  
上村 智子 (市民)  
平野 剛 (西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部京都支社総務企画課 地域共生室長)  
庄 健介 (阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部 部長)  
池田 清一 (大阪高速鉄道株式会社運輸部 次長)  
西山 哲 (阪急バス株式会社 取締役自動車事業部長)  
松村 喜裕 (近鉄バス株式会社 専務取締役営業部長)  
北西 進太郎 (京阪バス株式会社 企画部長)  
迫田 謙典 (一般社団法人大阪タクシー協会 副会長)  
阪本 均 (大阪府民の交通環境を良くする行動北摂地区実行委員会 茨木地区代表)  
大浦 毅 (茨木市身体障害者福祉協会 会長)  
藤本 典昭 (NPO 自転車活用推進研究会)  
吉澤 勇一郎 (国土交通省近畿地方整備局建政部 都市整備課長)  
(代理: 田中 克己 都市整備課課長補佐)  
青山 淳 (国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所 地域調整課長)  
南條 正幸 (国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局総務企画部門 首席運輸企画専門官)  
黒田 唯雄 (国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局輸送部門 首席運輸企画専門官)  
森岡 武一 (大阪府都市整備部交通道路室道路整備課 参事)  
小林 保 (大阪府茨木土木事務所 参事兼維持管理課長)  
泉谷 直紀 (大阪府茨木警察署交通課交通規制係 警部補)

【市(事務局)】

- 大塚 康央 (都市整備部長)  
野口 正博 (建設部長)  
鎌谷 博人 (建設部次長兼道路交通課長)  
田邊 武志 (都市政策課長)  
岸田 茂樹 (道路交通課参事)  
馬場 克二 (道路交通課課長代理)  
砂金 隆浩 (道路交通課係長)  
谷本 将一 (道路交通課主査)